



議会だより

北栄

北栄町議会
30
平成25年9月



4年間の軌跡 2

出前座談会 8

質疑あれこれ 11

町政 **ここを問う** 13



北栄町議会

検索



<http://www.e-hokuei.net>

4年間^{★★★★}の軌跡



平成
25年

平成
24年

平成
22年

平成
23年

平成
21年

3月 平成24年度予算を減額修正

- 前年度に、文化会館の館長が生活相談員を兼務したが、支障はなかったので、相談員1名の人件費を減額

12月 行財政改革委員会の報告がまとまる

- 補助金の見直しと抑制
- 負担金の必要性と役割の検討
- 民間活力の導入（こども園と保育所、上下水道、給食センター）

3月 平成23年度予算を条件付で可決

- 青山剛昌ふるさと館会計の収支計画を見直すこと

9月 議会初の政策提言

- 農業を活かした「全町公園化」で町の活性化

12月 補正予算の減額修正

- 議長の台湾訪問旅費は、今後を見極めてからでよい

12月 下水道料金値上げ案 可決

- 経営改善努力が具体的に示されていないとし、3月議会で否決されていた

3月 平成25年度一般会計予算を否決（町政史上初）

- // 一般会計予算修正案否決（可否同数のため議長が判断）
→議長不信任案も否決
- // 青山剛昌ふるさと館会計に附帯決議可決
- // 風力発電事業会計に附帯決議可決

5月 平成25年度 一般会計予算修正案可決（3回目の提案）

6月 議員提出議案（発議）

- 北条川放水路建設に伴う地盤沈下による被害調査特別委員会設置
- 真に人権尊重の社会形成を図るため特定地域に偏重した事業の見直しを求める決議可決

2月 「北栄町議会だより」が広報全国コンクールで日本一

3月 幼保一元化施設整備に付帯決議

- 用地取得費の再検討
- 住民の理解と合意形成を

5月 議会報告会を初めて開催

2会場に26人参加
(平成25年前期3会場 77人)

9月 21年度決算不認定

- 同和対策費の部落解放同盟への補助金支出に問題あり



※太字は次ページで詳細説明

否決

平成25年3月定例議会・臨時議会
平成25年度一般会計当初予算

町民生活に直結していない

背景

風力発電の売電収益は、再生可能エネルギー固定価格買い取り制度による増収が見込まれ、その増収分を活用した事業が提案されていた。

論点

風のまちづくり事業

1. 1年間ですべての町内防犯灯をLEDへ交換する必要はなく、古いものから交換すべき。
2. 自治会太陽光パネル設置は、実施したくても出来ない自治会もあり、平等に還元できない。
3. 現場の要望は、電気自動車ではなく、車いす対応の自動車である。
4. 国保税や下水道会計への更なる繰り入れなど、町民への直接還元が検討されていない。

同和対策事業

1. 同和地区に特化した地区進出学習会や生活相談員は、全町民を対象とした事業に変更すべき。
2. 全児童対象の児童館事業は学校近くへの移転、文化会館・センターは、計画的に地元譲渡や廃止を検討。

結果

採決の結果、定例議会では、反対8、賛成6で否決となった。また、臨時議会では、反対7、賛成7となり、議長の最終判断で否決となった。

否決・修正の論点

減額修正

平成24年3月定例議会
平成24年度一般会計当初予算

生活相談員は不要



背景

平成22年度末で、北条地区の生活相談員が退職したが、後任が決まらず、平成23年度は文化会館の館長が兼務していた。

論点

平成23年度、1年間不在でも支障がなく、不要である事が実証された。そのため生活相談員1名分の経費216万円の減額を求めた。

結果

減額修正案採決の結果、賛成7名・反対6名で修正案が可決された。

減額修正

平成23年12月定例議会
平成23年度一般会計補正予算

いま必要か？ 議長の台湾訪問

背景

交流事業をしていた台湾の大肚郷が合併し、台中市となったが、台中市では、北栄町との交流事業が予算化されておらず、事業の継続が不透明となっていた。

論点

当初の計画通り、町長と1名の職員が訪問し、今後の交流について協議する必要がある。一定の方向性が示されてから、議長の訪問をすべきである。

結果

追加提案された議長分の訪台旅費について減額修正動議が提出され、賛成10、反対4で可決された。



不認定

平成22年9月定例議会
平成21年度一般会計決算

補助金支出が不適切

背景

部落解放同盟への補助金の使途について、領収書のないものや現金出納簿がないなど、不明朗なものがあると関係者から告発された。

論点

一運動団体への使用目的に、限定のない補助金支出は問題である。補助金交付団体の不適切な支出が、関係者から指摘されながら、当局は調査の姿勢もなく責任感が薄い。

結果

平成21年度決算は、反対8、賛成6で不認定となった。解放同盟への補助金支出は廃止された。また、この影響から、教育長がヶ月あまり不在となった。

25年度予算ようやく**成立**

25年度当初予算を3月定例議会・3月30日の臨時議会と2度にわたり否決し、5月9日の臨時議会において賛成多数で可決しました。

質疑あれこれ



問 前田栄治
人権相談員は、どのような人を選ぶのか。

答 杉本生涯学習課長
同和問題だけに対応できる人は応募資格に該当しない。



問 長谷川昭二
防犯灯ではなくLED電球を全市帯に配布しては。

答 松本町長
各家庭で照明器具が違うので、等しく配布は、難しい。

全市帯にLED電球を！

問 山下昭夫
風車の増収分は、借金返済や値上げ予定の下水道会計に使用しては。

答 松本町長
今年度はLEDや太陽光発電に使う。来年度から貯金も含め、柔軟に対処する。

賛否あり

反対討論 長谷川昭二
「人権を尊重するまらづくり推進計画」は、同和問題を中心としたものになる。
・風力発電の利益還元は、住民生活への直接の支援をまず先に行うべきである。

賛成議員
長谷川 阪本・石丸・宮本・前田正池田・浜本・津川・山下清水・井上・前田栄・飯田 奥田

★予算の修正と今後の方向

- ・外出支援サービス事業のEV車を車いす対応のガソリン車に変更し、72万円の減額。
- ・LED防犯灯整備事業の蛍光灯タイプ533本を360本に変更したため、835万円の減額。
- ・自治会公民館の太陽光発電設置事業を取りやめて525万円の減額。
- ・人権対策・人権教育に関する事業の整理統合。
- ・生活相談員を廃止し、6月から人権相談員を配置するため33万円の減額。
- ・今後、北条文化会館と大栄文化センターを統合し、人権文化センターを設置。
- ・北条文化会館は大野自治会への譲渡について申し入れを行い地元で検討中。
- ・予備費に太陽光発電設置事業相当分を計上し、1,365万円の増額。

- 専決処分の承認 全会一致 承認
- ① 税条例の一部改正 (地方税制の一部改正に伴うもの)
- ② 国民健康保険税条例の一部改正 (地方税制の一部改正に伴うもの)
- ③ 平成24年度 一般会計補正予算(第8号) (財政調整基金積立金など)
- ④ 平成25年度 一般会計暫定予算 (予算成立まで間の暫定的な予算)

平成21年～25年

4年間 議員の出席簿

定例・臨時議会

定例議会は、定期的に開く議会。
年4回(3・6・9・12月) 臨時議会は必要に応じて開く議会。



議会運営委員会・常任委員会

議会運営の委員会を設置。また、議会を効率的に進めるため、部門別に調査・研究・審査する会を設置。総務・産業建設・教育民生・広報広聴。



特別委員会

特別な案件を調査するために臨時に設けられる委員会。調査が終了すれば消滅する。



全員協議会

全議員で町政全般に関わる事項や、議会運営に関する事項などを協議する会。状況に応じて開催。



平成21年10月～平成25年6月

名称	奥田	飯田	前田栄	井上	清水	山下	津川	浜本	池田	長谷川	前田正	宮本	石丸	阪本	青亀
定例・臨時議会	92	93	92	93	93	92	93	93	93	91	92	93	92	93	89
常任委員会等 (所属委員会数)	78 (4)	70 (4)	70 (4)	126 (5)	22 (2)	87 (4)	59 (3)	44 (3)	87 (4)	117 (5)	21 (2)	21 (2)	146 (6)	65 (3)	64 (3)
特別委員会	23	29	10	10	10	9	7	28	29	26	9	10	24	27	10
全員協議会	75	78	76	80	78	76	70	80	80	75	78	79	77	78	76
一般質問数	25	31	9	7	7	12	19	22	20	35	5	9	32	30	14
計	293	301	257	316	210	276	248	267	309	344	205	212	371	293	253

※議長は原則的に開庁日は出勤し、事務処理をしています。

この4年間に設置された特別委員会 ※日付は設置年月日

- ① 庁舎統合に関する庁舎特別委員会 (H22・9・24)
- ② 懲罰特別委員会 (H22・12・15)
- ③ 行財政改革特別委員会 (H23・10・24)
- ④ 北条川放水路建設に伴う地盤沈下による被害調査特別委員会 (H25・6・19)

議会 出前座談会

平成22年にスタートした議会報告会も、今年の5月10日・12日開催で、7回目となりました。
3会場77人の参加をいただき、どの会場でも活発なご意見をありがとうございました。
今回は11月に4地区（みどり1区・2区、妻波、みどり西団地、大谷）で開催します。

議会へ

発言は分りやすく

議会での発言に、横文字（カタカナ語）が多い。分かりやすい日本語で。

由良宿3区

一般質問や質疑において、聞きなれない横文字はできるだけ使用しないよう努めます。



町長へ

危険建物の改善

屋根トタンの一部撤去と注意看板だけ。いつまでに改善されるのか。

条例を制定

今年度中に、適性管理の指導・勧告・命令等ができる条例を制定する予定です。
今後、条例に沿って撤去要請を行っていきます。

補修の一部負担

町道補修に、業者の一部負担を求めるような回答はいかがか。

原因者に

原因者が特定されれば、その者に補修を求める意味で回答しています。

実現されていない

町長答弁で「今年度中にやります」と言われた中に実現されていないものがある。農業委員会が提案した農業振興条例はどうなっているか。

実施に努めている

前向きな答弁したものは速やかな実施に努めています。
農業振興条例は、本年9月議会に上程する予定です。

町長へ

値上げ抑えて

下水道料金の値上げを何とか抑えてほしい。

避けて通れない

下水道会計を健全に維持していくには、繰入金を少なくし独立採算に近づけていかなければなりません。従って、料金の値上げは避けて通れません。



北条野球場

施設管理が不十分

勤労者体育センターは雨漏りがひどい。大栄運動場のバックネットは鉄骨がさびびいて、補強しているが危険。
北条野球場はベニヤがはがれたまま。

対応を検討

体育館は管理計画と予算を勘案し修繕を実施しています。
10施設中2施設の廃止を予定しており、対応を検討しています。
大栄運動場のバックネットは、益まで撤去し、更新を進めます。
北条野球場は、見た目は悪くなっていますが、試合には支障ありません。様子を見て管理していきます。

議会へ

弓原浜

区別しないで

大栄・北条と区別しないよう、発言は考えて。



区別しないで発言するよう議員間でも話していきましょう。

選挙の連呼やめて

選挙カーでの氏名の連呼をしなくてほしい。街頭演説で政策を訴えて。

ご意見を議員に伝えました。



緑ヶ丘団地

質疑あれこれ

6月 定例議会

全議案可決

6月10日から19日にかけて、6月定例議会が開かれました。町長から提案された補正予算や条例など、9議案及び議員発議の2議案が可決されました。その他、5件の報告と4件の陳情審査がありました。

提出
議題

専決処分	▶住宅新築資金特別会計補正予算（繰上充用* 2,873万円） ▶下水道特別会計補正予算（繰上充用 839万円）
条 例	▶職員の給与の特例に関する条例（職員給与の減額） ▶国民健康保険税条例の一部改正（税率改正） ▶健康福祉センター等の設置及び管理に関する条例の一部改正（北条健康福祉センター使用料改正）
	
補正予算	▶一般会計補正予算 6,124万円 増 （国保特別会計への繰り出しなど） ▶国民健康保険特別会計補正予算 7,037万円 増 （一般会計からの繰り入れ・税率改正による収入増）
	▶下水道特別会計補正予算 336万円 減（人件費）
財産の取得	▶財産の取得（消防ポンプ自動車1台 2,042万円）

健診や会議室として利用できるようになる北条健康福祉センター

*繰上充用とは24年度の収入不足(未収金)を25年度の予算から借りて補てんするもの

議員による提出議案（発議）

発議第5号

北条川放水路建設に伴う地盤沈下による被害調査特別委員会の設置

設置理由 地下水の水位低下が原因と思われる地盤沈下が、弓原浜地区を中心に発生している。被害は、家屋だけでなくとどまらず、そこに暮らす人の健康にも及びつつある。一刻も早く、この問題を解決し、被害を受けた町民の方が、安心して暮らせるようにするため、特別委員会を設置して被害の調査・研究を行い、その対策について考えていく必要がある。

発議第6号

真に人権尊重の社会形成を図るため特定地域に偏重した事業の見直しを求める決議

決議文内容

- 1 北条文化会館、大栄文化センターは各地区に譲渡または廃止し、人権啓発の拠点は生涯学習課に置くこと。
- 2 児童館は、利用の機会を広げ、児童福祉法の目的を達成するため、利便性のよい町の中心的位置に機能を移転すること。
- 3 小・中学校の児童生徒の人権学習は、教育の機会均等を図る上から、学校教育の範囲ですべての児童生徒を対象に行われるべきであり、応募者だけを対象にし、特定の地域に教員の派遣を行わないこと。

※詳しい議案名と審議結果はHPに掲載しています。

国保税条例の改正

問 長谷川昭一

軽減措置があっても、所得のない人まで国保税がかけられることには変わりがない。低所得者に対する配慮が必要ではないか。

答 松本町長

今回の提案では十分配慮した。応納割合を増やすと別の問題が出てくるのでバランスを取りながらした。所得のない人でも、ある程度負担することが保険の原則と考える。

給食センター調理部門の外部委託

問 井上信一郎

外部委託によって、栄養士による食育の推進は充実できるか。また、今後のタイムスケジュールは。

答 西村教育総務課長

外部委託によって生まれる時間を、食育に繋げていきたい。今後は、来年4月からの実施に向け、10月には契約したい。それまでに選定委員を公募する。

北条健康福祉センターの利用

問 井上信一郎

使用料の減免はあるのか。

答 別本総務課長

個人で使う場合は料金が発生するが、町民が複数で利用する場合は対象になる。



職員給与の減額

問 長谷川昭一

職員給与の減額による町への影響額はどれくらいか。

答 別本総務課長

給料のほか、期末手当・管理職手当・超過勤務手当も減額となるので、約2,100万円の減額となる。

問 津川俊仁

この背景は、交付税のカットによるものではないか。

答 別本総務課長

交付税の減額で町財政に影響がある。その影響を少なくするために職員組合に提案した。

発議第6号の決議

問 前田正雄

児童館を中心的位置にとあるが、これは1ヶ所ということか。

答 石丸美嗣

学校に近い場所で2ヶ所という意味。

問 浜本武代

同和問題が解決したと言っているのは一握りの人達だけ。決議文はもう少し待つのがよいのでは。

答 石丸美嗣

提案を含めてのもので、先には必ずような内容ではない。

問 井上信一郎

文化会館・文化センターの譲渡・廃止は、今すぐにはなく将来的にと言っ意味か。

答 石丸美嗣

期限を記入していないので、そのような解釈で構わない。

賛否あり

職員給与条例

〔反対討論〕 長谷川 昭二

給与を下げなければならぬ程、町財政が悪化していると思えない。北条町経済、民間給与への影響もある。給与が定めてあるものを途中で下げるものではない。

〔賛成議員〕 阪本・石丸・宮本
前田正・池田・山下
清水・井上・前田栄
飯田

可決

国保税条例

〔反対討論〕 長谷川 昭二

国保加入世帯の56%が所得103万円以下の現状に、年金の2.5%削減、消費税の増税がかさなる。こうした状況では、国保税の引き上げはできない。町のさらなる努力が求められている。

〔賛成討論〕 井上 信一郎

特別会計は独立採算が基本である。今年度見込まれる赤字の三分の二を町で補填し、残りを被保険者に負担願うもの。町長の英断である。

〔反対議員〕 長谷川 昭二
奥田

〔賛成議員〕 阪本・石丸・宮本
前田正・池田・山下
津川・山田・清
井上・前田栄・飯田
田水本本

可決

一般会計補正予算(第一号)

〔反対討論〕 長谷川 昭二

学校給食の調理業務委託による偽装請負をさけるには、業者に丸投げしなければいけない。学校給食法の趣旨に反し町の責任放棄になる。

〔反対議員〕 長谷川 昭二

〔賛成議員〕 阪本・石丸・宮本
前田正・池田・山下
津川・山田・井上
前田栄・飯田

可決

発議第6号の決議(10ページ参照)

〔反対討論〕 津川 俊仁

結婚差別や就職差別など、実態として部落差別は残っている。その解消に向けた取り組みが必要。決議の3点を実行すれば、本町の人権教育、人権啓発の事業は後退する。

〔賛成討論〕 長谷川 昭二

同和対策イコール人権対策という考え方は、現状の人権問題に対応できない。臨時雇用の現状は、町行政のあり方そのものが人権問題として問われている。本町に人権意識の向上を図るのであれば、公平で公正な行政が求められ、見直しは必要である。

〔反対議員〕 宮本・前田正
浜本・津川

〔賛成議員〕 長谷川 昭二
山田・池田・丸
山下・前田栄
飯田・奥田

可決

町政 ここを問う

6月定例会では10人の議員が18問の一般質問を行いました。

行政改革

合併協定破棄か

答 「庁舎統合は必要」



池田 捷昭

約束違反だよ

池田

① 合併後、人口

が約1,100人減少、地方交付税も段階的に減少、歳出の義務的経費の大きな部分は人件費である。下水道使用料・国民健康保険税の値上げも予定されている。町民の幸せを願う「行政サービスと町民負担のあり方」を考慮

して「活力の有る小さな自治体」が必要

① 庁舎統合について
② 中央公民館と北条福祉センターを一体的に地区公民館としては、
③ 子ども園の民営化については、

町長

① 合併から8年経過

し、行財政改革が求められていることから、簡素で効率的な行政運営を目指す庁舎のあり方が問われている。合併協定書が絶対ではなく、時々の社会情勢にあった判断をすべきで、庁舎統合は必要である。

教育委員長

保育・教育内容の充実が大切。また、乳幼児期から、学童期以降への子ども発達を目指すには、幼保小の連携が不可欠であり、この分野は行政が責任を持って取り組むべきと考えている。

② 中央公民館は、町民全体の施設であり、地区を限定した利用は考えていない。また、北条健康福祉センターで、公民館事業の一部を実施することは状況を見ながら検討したい。

③ 昨年、北条地区の統合、保育所の民間委託を実施した。現段階は、

※詳しい議案名と審議結果はHPに掲載しています。

1件の請願と6件の陳情を委員会審査し、採択4件、不採択1件、継続審査1件となりました。

請願件名	請願者(紹介議員)	採決	主な委員会意見
地方財政の充実・強化を求める請願	自治労鳥取県本部 北条町職員労働組合 (津川 俊仁 議員)	採択 全会一致	地方財政予算全体の安定確保を図るため。 →政府に意見書を提出。
主な陳情件名	陳情者	採決	主な委員会意見
年金額 2.5%削減中止を求める	全日本年金者組合鳥取県中部支部	不採択 陳情に賛成2反対13	将来にわたって持続可能な年金制度であるためには、削減もやむを得ないため。→措置なし
「生活保護基準の引き下げをしないこと」の意見書提出	鳥取県生活と健康を守る会連合	採択 全会一致	生活保護基準の引き下げは住民の生活に大きな影響をあたえるため→政府に意見書を提出。
TPP(環太平洋連携協定)交渉への参加反対を求める	全日本農民組合鳥取県連合会	採択 全会一致	TPPに参加するには、次期尚早であり、環境整備が整っていない。→政府に意見書を提出。

財政再建と町運営

借金が多いが

答「堅実に行う」



山下 昭夫

財政の健全化を



山下

①平成24年度末残高で、一般会計の借金(地方債)が約90億、下水道事業の借金(地方債)が約12.1億円となっている。このような厳しい財政状況の中、どのような財政運営を図っていくのか。

町長

現在までの財政運営はおおむね堅実に行ってきたと考えているが、※実質公債比率は高い。今後の普通交付税の減少により歳入の大きな減額が目前に迫っている。公債費の縮減、特別会計の独立採算性を高め、一層の歳出削減とあわせて、下水道料金の値上げも考えている。

※実質公債比率
自由になる財源の内、借金返済の割合のこと

町政マミを問う

山下昭夫議員・奥田伸行議員

庁舎統合

メリット・デメリット

答「統合は必要である」



奥田 伸行

動きが見えない

奥田

①庁舎統合の、今の考えは。
②庁舎統合のメリット・デメリットをどう判断されたのか。
③合併協定書の記載についての考えは。



町長

①簡素で効率的な行政運営を目指す観点、総合的な庁舎のあり方から、庁舎統合が必要であるという考えは、現在も変わっていない。
②メリットは
・庁舎、分庁舎の2庁舎制は、事務が非効率であり災害等危機対応上で不適切
・北条庁舎は耐震強度が不足している。
・北条庁舎の維持管理費を軽減する必要がある。
・庁舎統合を行うには合併特例債の活用が有利。
デメリットは
・総合窓口は引き続き設置し、利用者の利便性を確保する。統合に伴う費用は出来る限り少くしたい。
③協定書については、その時の社会情勢にあった判断をすべきであり、統合を行うことは必要である。

町長の政治姿勢

気配りと気遣いを

答「丁寧な説明に心がける」



池田 捷昭

信と義である



池田

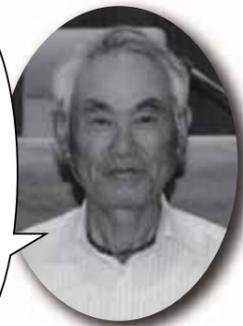
3月、2年度の予算否決に町長は危機感を持って議決に向けて議長との協議が全くない。提案権を有する町長は議決権を有する議会の長と胸襟を開き打ち解けて協議すべきと考える。権限が上がれば上がるほど気配り、気遣いをされなくてはならない。その上で政治の根幹は信と義であると考ええる。

町長

最善の予算案と確信していたが、「風のまちづくり事業」「同和对策事業」で、予算のすべてが否決となり、非常に残念な思いであった。しかし、真に町民の皆さんにとって最善であったのか、十分説明が出来ていたのかと自問自答した。これらで、住民との信頼関係が最も大切であり、常に念頭に置いて来たが、今後は、これまで以上に丁寧な説明を心がけ、納得しただけの公明正大な町政運営をしていきたい。

町長の発言
議会に挑戦

答「率直な気持ち」



石丸 美嗣

感情を抑えて

石丸

インターネットの交流サイトに議会に挑戦するような書き込みをされた。

「聞く耳を持たずわれわれの言うことを聞け、という傲慢な態度は腹立たしい、くじけず戦う」町長の提案は正しい、反対する議員が悪いと受け止めたが、その真意は。



町長

25年度一般会計予算が否決され、非常に残念であり、率直な気持ちを書き込みました。大胆な選択と集中による積極的な予算編成を行うとともに、広域連携、農商工の推進、環境、少子化対策、子育て、教育など将来を見据えた施策には引き続きチャレンジする最善の予算案であると思っていた。

町政マミを問う

池田捷昭議員・石丸美嗣議員

議会無視では

答「もっと丁寧の説明」



阪本 和俊

おかしくないか

阪本

①議決機
関の議会
に相談のない最近の政
策提言は強引で、議会
無視とすらされても仕方
がない。

②競争入札とは名ばかりで、特定の業者が全てを占めていていらい落札しており、競争原理が働いていない。公

平公正を基本とする行政機関としておかしくないか。

③財政改革が結果的に町民に負担を強いる中、太陽光パネルの補助金と町づくりビジョンとの整合性はどこにあるのか。

町長

①予算説明会や全員協

議会、毎月ある行政報告会で説明、相談をしている。それでも足りないということなら今後は、もっと説明する。

②公平公正のための競争入札であり、癒着は全くない。その様な話が出る事自体、残念だ。

③「町づくりビジョン」の中には「環境にやさしいまちづくりの推進」があり太陽光パネル設置補助金の整合性は十分である。



改修がすすむフェンス

政治の目的と役割

特に配慮すること

答「先手を打っていく」

青亀

①平成25年度北栄

町一般会計予算は、二度の議会での否決の後、ようやく可決された。政治とは何かということに再認識する必要がある。また特に配慮すべきことは何か。

②議会に議決権が付与されているのはなぜか。

③北条健康福祉センターの健康関連業務の再開は。

④また、大栄運動場のバックネットは、腐食が激しく危険である。早急に撤去し、更新をすべきである。

町長

①住民の幸せのために

施策をおこなうことが政治であり、特に配慮すべきことは住民の安心安全そして幸せを願うことだと思っている。

②首長と議会にはそれぞれ権限が付与されており、正しく行使されることで、町のすすむべき道と方向が示される。

③来年度からの再開を考えている。

④運動場のフェンスは、現在応急措置で使用していただいているが、非常に危険な状態であり、撤去する。簡易なフェンスに改修する。



青亀 恵一

やってみて！



改修がすすむフェンス

国保会計の運営

利用者の負担が

答「一般会計から補填」

長谷川

国保は、軽減世帯

の増加や所得103万円以下の世帯が56%もある。このような中で国保税の引き上げ提案である。

①町長は、やむなく一般会計から国保会計へ繰り入れたが、「本来、会計の中で受益と負担を考え、回していくもの」と述べられた。これは、どんなに負担が増大しても、利用者負担で運営されるべきということか。

②社会保障として被保険者が安心して、医療や介護が受けられるように、住民負担を軽減することが町にも求められていると考える。

町長

①平成25年度は、大幅

な財源不足が見込まれ、近年見送ってきた、税率改正を行う。国保会計は、本来独立した会計の中で運営すべきものだが、保険税だけで賄うのは加入者負担増になると考え、一般会計からも赤字補填をする。

②社会保障制度により、医療や介護の安心が得られるようになったが、人口構成の変化に伴い、医療費や介護費は増大するばかりで、財源の確保が困難な状況が継続することが懸念される。



長谷川 昭二

もっとがんばって



石丸

受益者の分担金に

ついて強引な徴収であり、地権者とのやり取りに疑問点が多くある。督促状以外のやり取りの送付はどのような方法であったのか。



石丸 美嗣

納得できない

やり取りに疑問

答「本人が納得し納付」

下水道分担金

町長

分担金は町の整備にお

いて著しく利益を受ける者に対しその利益の限度において事業費の一部を負担いただくもの。再三にわたり書類は送付しており、住む予定のない方に対しては徴収猶予の手続きで納付の先延ばしが出ることも十分に説明している。供用開始後賦課する前までに申請されれば賦課することはなかった。



北条道路

町の取組みは！

答 「積極的に協力」



山下 昭夫

早期着工を！

山下

北条道路
事業再開

北条道路について山陰自動車道は未事業化区間が北栄町にある。今年度、一部関連費用が計上され、要望活動が行われている。事業再開まで4年程度、そこから10年程度必要と新聞報道があるが、今後の取り組みは。

町長

完成までの
期間につい

ての今後の見通しは確定していない。早期供用を目指し、事業促進のため引き続き関係機関へ要望、地元調整など協力できる部分については積極的に協力していく。



進む人口減 結婚して

家族をつくるう

答 「支援対策の充実」



浜本 武代

みんなで協力



浜本

本町で2
011年

に生まれた赤ちゃんは122人。2040年には69人、町人口1万1千人と推計されている。独身者が結婚し、家族を作ってほしい。そのために独身者・家族・地域・職場で協力し合える町に。

町長

結婚支援事業として、

会員登録された方に県の「とっとり婚活サポート事業」のイベント情報配信登録の案内をした。妊娠・出産支援として不妊治療費用の一部助成をしている。就学後支援では、放課後児童クラブの利用者が増加しているので、定員を増やす等充実していく。

若者が結婚し、子供を持ちたいと思う気持ちの醸成は大切であり、毎月19日を「育児の日」とし、町民みんなで育児を支援していく啓発に取り組んでいる。

町政マゴを問う

山下昭夫議員・前田栄治議員

農商工推進室の成果

砂丘 農業の活性化を

答 「所得の向上につなげたい」



前田 栄治

受け身ではだめ！

前田

平成24年
4月から

企業誘致や加工などの6次産業化、グリーンツーリズムなどへの取り組みに向けて、農商工推進室が設置され、北条砂丘農業活性化プランも策定された。町の積極的な攻めの姿勢である。

①1年を経過した推進室の成果は。
②今後の目標は。
③県が掲げる雇用創造1万人プロジェクトとの連携は。

町長

①農商工連携の成功が

地域経済活性化へつなぐと考えている。1年目は、計画が中心だった。2年目からは実行に踏み出していく。
②「農業」を地域活性化への重点テーマに据え、農業及び関連産業の振興、雇用拡大、農産物のブランド化、販路拡大など町民所得の向上につなごう。
③雇用1万人プロジェクトとは現在、農業面では連携している。今後は、商工業面でも雇用拡大に積極的に連携をしていく。



職員人事と育成

政策能力の向上を

答 「研修でスキルアップ」



奥田 伸行

もっと真剣に

奥田

すばらしい町にす

るためには、職員の政策能力を高めることが必要。職員のスキルアップとモチベーションの維持に力を入れては。特に若手職員や中堅職員（グループリーダー）の育成を。
①業務チェックや業務



分担任はどうなっているのか。
②人事異動の目安（年数）は。
③あらゆるニーズに対応できるスペシャリストはいるのか。
④人事評価制度を導入されたが、どのように活用されるのか。

町長

スキルアップは職員研

修と考えている。モチベーションは常に課題を意識し、目標や到達点を定め、新しい手法にも挑戦しながら努力を続けることが、より良い業務の進め方であると考えている。
①業務チェックなどは室制を敷いていて、今までのようなチェックが可能となると考えている。
②人事異動は概ね3年。③経験を積んだ職員には専門性を深めてもらい、行政ニーズに対応出来る体制を作り上げていく。
④人事評価は業務評価として個人の業績をルールの下に評価し処遇に反映する。

町政マゴを問う

浜本武代議員・奥田伸行議員



飯田 正征

後押ししよう！

外出支援

善意を生かせ！

答「ボランティア活動は必要」

飯田 高齢化により、車の運転ができない人が増えている。このように交通手段で困っている人に対し、無償で外出支援の手を差し伸べたいと思う町民を後押しし、活かしていくことが、高齢化が進展する本町に必要なことと考える。

町長 ①地域で支え愛活動を進める上で、ボランティア活動は必要だと思っている。行政として、無償の外出支援がどんな方法ができるか検討したい。



障がい児の保護者支援 状況と対応

答「不安解消に努める」



飯田 正征

幅広く支援を！

飯田 ①全国的に発達障がいが増えている。割合が急増している中、北栄町の状況は、

②町は、自閉症や注意欠陥多動性障がいの子どもを持つ保護者に対してどのような支援をしているのか。
③同様の子どもを育て経験した保護者が相談

に乗り、助言することができれば、子育ての不安が少しでも解消できると考える

町長

①24年度発達障がいと診断された児童、生徒は増加している。
②各小中学校に障がいに応じた特別支援学級を開設し、さらにきめ細やかな指導や必要な支援を行うために、こども園や小中学校には加配保育士や

特別支援教育補佐員を配置するなど、早い段階から一人ひとりに応じた指導の充実を図り、自立に向かう力をつけることが、本人はもとより、保護者の支援につながっているものと考えている。
③県ではすでに、そのような相談事業があるが、町としても、保護者の中で希望があれば、研修に参加し勉強してもらい、講演していただくなどしての保護者の不安解消につとめたい。



まなびの教室（大栄小学校）

給食調理の民間委託

自治体の責任放棄

答「業者まかせではない」「責任放棄ではない」



直営で

長谷川 昭二

学校給食のもつ役割をどのように実現するのか。民間委託は、自治体の責任放棄ではないか。

町長

①先進事例を調査した結果、業者委託をする事で、食を通じた子ども達の健康の向上が期待できると総合的に判断した。
②業者委託にする事で、学校栄養職員が、食育や献立を工夫する時間が生まれる。
③調理部門以外は直営であり、業者任せではない。



教育委員長

①人件費等の経常経費の適正化だけでなく、調理職員の管理業務の効率化、学校栄養職員による食育の推進、きめ細やかなアレルギー対応、献立内容の充実が図れる。安全・衛生管理の徹底も推進できる。
②③町長答弁と同じ

長谷川

来年度から学校給食の調理部門を民間委託することだが、①今でも調理師は、正職員が2名臨職10名である。これ以上の経費削減をしてまで、なぜ民営化なのか。
②直営では、食育・給食内容の充実が図れないのか。
③安全で豊かな給食の提供や、食育といった、

町政マミを問う

町政マミを問う

飯田正征議員

健康なまち町民大会

地域で健康づくり

答「町民が実行委員に」

町民が主役



浜本 武代

浜本

①「健康なまち町民大会」は、多くの自治会や町民が主体となり、時間をかけて取り組んでいくことが大切である。
②国は、介護保険の要支援者を、市町村の事業に移行させる検討を始めた。今後、どのように取り組んでいくか。

町長

①今年、町民に実行委員になってもらい、自治会の取り組みや町民の実践活動を発表してもらう。大会を契機に、地域での健康づくり活動に結びつけていきたい。
②高齢者の地域生活課題を分析し、健康の維持や日頃の社会参加・活動など効果的な「介護予防・日常生活支援総合事業」を行う。



平成20年8月開催の町民大会

委員会でも調査研究しました。

議会運営

行財政改革とまちおこし

島根県海士町
海士町は、7,000人近い人口が、平成22年には、人口2,374人まで減少し、高齢化率も39%に達している。山内町長は、危機感を持って「島の未来は自ら築く」と大胆な生き残るための守りの戦略（徹底した行財政改革）と攻めの戦略（地域資源を生かした産業創出）を実行された。

徹底した行財政改革では、町長給料の50%カット、三役、議員・教育委員・管理職・職員も40%〜30%の報酬や給料のカットが実施された。この大幅なカットは、町民の意識

改革にもつながり、老人クラブから補助金返上の申し出や町民から、自分たちに出来ることはないかななどの声があがるようになった。

地域資源を生かした産業創出では、攻めの実行部隊である産業3課を、島の玄関口である港事務所に設置した。この3課は観光と定住対策を担う「交流促進課」、第一次産業の振興を図る「地産地商課」、新たな産業の創出を考える「産業創出課」である。設置後は、「島じゃ常識でざえカレー」や「隠岐海士のいわがき春香」などのヒット商品が生まれ



また、起業に際し、初期投資の資金がない者に、施設を町が借り、それを貸すという方法で支援する大胆な施策も実行されている。

所感 町長の、「島を、人を愛した町行政の経営理念」が職員、町民に理解され、今の元気な海士町に至っていると感じた。また、「自ら身を削らない改革は支持されない」との町長の強い信念と担力が、職員の公務員としての基本姿勢にも現れていた。

そして、将来を見据えたまちづくり推進の必要性を改めて感じた。

教育民生

認知症になっても安心して暮らせる町づくり



香川県土庄町
土庄町は平成22年国勢調査で、人口15,123人、高齢化率33.3%である。介護保険料は、サービス利用人数・保険給付費ともに右肩上がりとなり、施設入所は3年待ち、デイサービスは3ヶ月待ちとなっている。

このような中、認知症になった人の地域でのトラブルや介護者のストレスによる家庭内での虐待などが問題になってきた。平成20年度から2年間にわたって「認知症地域支援体制構築等推進事業」に取り組み、目的指向型のま

ちづくりの手法で、住民・行政・関係機関が協働した話し合いを実施し、それを多くの町民への知らせるとともに、啓発するために報告会を開催された。

それを契機に、住民による「あつたかとのしょう町づくりの会」が発足し、活動がなされている。現在は、町づくりの中心に「魅力ある安心で快適な支え合うまち」という核をおき、生活習慣病対策「発達障がい児支援」「子育て支援」「障がい者対策」「認知症対策」を推進されている。



オリブプリボン

※土庄町虐待防止等ネットワーク協議会のシンボル

所感 北栄町も町民との協働のまちづくりは進められているが、全体の図式において、それぞれの役割が明確になれば推進がしやすくなる。そのうえで、実践していく事が必要である。

産業建設

グリーンツーリズム

熊本県合志市 県営「カントリーパーク」
年間40万人以上が訪れる農業公園。施設は「学習」「遊び」「解放感」の三つの視点から農業への理解が深まるよう配置されている。また、「食べる」「買う」「触れる」「遊ぶ」などの行動も農業体験の一環となるように、農業館を核として農業公園がストーリー性のある点の場となっている。

所感 北栄町議会からの政策提言「全町公園化」・グリーンツーリズムと関連して検討してはどうか感じた。

合志市 農業研究センター
稼げる農業を目指して農業者の所得を最大化するとともに、環境にやさしい農業を目指して新品種の育成・新たな栽培・飼育管理技術の確立などの研究を中心に、熊本県の農業分野における技術革新の拠点・農業情報の発信基地。

センター育成第一号の商品「森のくまさん」が、平成24年度米の食味ランキングで日本一の栄冠。

所感 全国の有名品種を抑えて日本一になったことから、視察が殺到していた。温暖化が進む環境の中で、新品種の育成など進めなければならぬ対策の必要性を感じた。



熊本県玉名市 「トマト」Jr. 農園玉名
JR九州が運営している農園。1鉢ずつ独立したポットで栽培する機械システムで、安全・安心、おいしさへのこだわりを持ってトマトを作っている農園だった。

所感 農業推進室の設置や従業員30名中7名の身体障がい者の方を雇用されている。農福連携の推進など本町で検討してはと考える。

総務

危険な空き家の対策



避難場所になった空き家跡地

呉市役所 「空き家対策」
戦前の人口急増に伴い、山の斜面に建てられた住宅には廃屋が多い。空き家再生等推進事業として個人に30万円を上限に家屋解体費用を補助している。予定の3倍以上の申し込みがあった。

所感 住民からの苦情が相次ぎ、議会政策研究会で協議し、議会提案で条例制定をした。町民の安心安全を守りたいという思いは、議会・行政ともに共通のものであり、協働して問題に取り組むべきである。

長崎市役所 「空き家対策」
老朽危険空き家対策事業として土地、建物が市に寄附できることや解体後の土地の維持管理を地元住民で行える事などを条件に、行政で更地にして公共空間を作り、安心安全を確保している。また個人で解体する場合、50万円を上限に除却費補助も

所感 危険な老朽空き家は増加が現実視されており、地元住民の安心安全のため、条例を制定し、体制を構築しておく必要性を感じた。

佐賀市「わいわい!! コンテナプロジェクト」
市街地再開発ビルとデパート、歴史文化ゾーン、商店街の4つの拠点を結び数カ所に街中を歩いてもらうためのコンテナを設置し、にぎわいを創出している。コンテナで商売をしてから、市街地で出店した人も多数いる。

所感 市が、リーダーシップのとれるNPOに委託し、東京で起業している佐賀出身の人材や企業と協力して、地元の大人も子供も集まれる仕組みを作っていた。コナン通りにコンテナ設置して貸し出し、地元活性化・起業を促進してはと考える。

こんなことしてるよ!!

ちまきづくり・栄保育所



栄保育所（ばんだ組・3歳児）

栄交流福祉センター内にある栄保育所では、併設のいろりの郷を利用して、高齢者の方と様々な交流をしています。6月には一緒にちまきづくりをしました。

～子どもたちの感想～

- ・楽しかったよ、まねっこしたら出来たよ
- ・おばあちゃんたちすごいね、おもしろかったよ

～いろりの郷の方の声～

教えてやれてよかった。こんな機会があつてうれしかった。楽しかったので、またやりたいね。

ふれあい交流・大谷保育所



大谷保育所(3歳・4歳・5歳児)と大谷青年部の人たち

大谷保育所では毎年、園児と地域の方たちとの交流事業を行っています。今年も、大谷青年部の方たちと園児と一緒にさつまいもの苗を植えて、交流しました。

～子どもたちの感想～

- ・秋のいもほりが楽しみです
- ・畑にいるのはとても楽しいです

～大谷青年部の人たちの声～

将来、大谷で農業をしてくれる子がいれば、とてもうれしです。

知っとなる? こんな北栄

タブノキ (下種)



下種には、北栄町で唯一「とっとり名木百選」に選ばれているタブノキがあります。(樹高21m・幹回り5.4m・樹齢不明)

スダジイ (国坂神社)



推定樹齢500年のスダジイ群など典型的な照葉樹林である国坂神社社叢(しゃそく)は町指定保護文化財です。

編集後記

任期最後の議会だよりの編集に携わり、満足な編集ができなかったことが悔いの残るものとなりました。気軽に読んでいただけの広報誌に仕上げるため委員は時間を惜しまずかわつてきました。ぜひ町民の皆様にはページを開いていただき率直なご意見を事務局までお知らせください。今後の発行の参考とし、ポイ捨てにならない広報誌づくりを努めてまいります。

石丸美嗣

発行責任者

議長 青龍 恵一

編集

広報広聴常任委員会
 委員長 石丸 美嗣
 副委員長 奥田 伸行
 長谷川昭二
 井上信一郎
 前田 栄治
 飯田 正征

表紙写真

ゆら田良川くだり200-3
 アイデア賞一位 瀬戸自治会
 「ゆら川のくまちゃん」
 8月4日撮影

D A T A

人口 / 【15,746人 (男7,513人・女8,233人)・世帯数5,214世帯 (平成25年7月31日現在)】



議会だより 北栄

平成25年 9月1日発行 30号

発行 / 北栄町議会 編集 / 広報広聴常任委員会 印刷 / 勝美印刷
 〒689-2292 鳥取県東伯郡北栄町由良宿423-1
 電話 : 0858-37-2445 FAX 番号 : 0858-37-5339